

平成25年度決算

津別のまちの家計簿

一般会計は、7億1914万円を基金から取り崩しました

皆さんが納める税金や国・道からの交付金などは、私たちの生活をより良くするためにいろいろな形で使われています。これらが、行政サービスとしてどのように使われたのか、一般会計を中心に平成25年度決算の執行状況についてお知らせします。

一般会計・歳入

平成25年度の歳入決算額は、62億7712万円となり、対前年比20・8%の増となりました。これは繰入金、町債、国・道支出金等の増が、主要要因となっています。

歳入の内訳(グラフ1参照)を見ると

国から交付される地方交付税が最も大きな財源になっており、25年度では30億5149万円で歳入全体の48・6%を占めています。これに国・道支出金や地方譲与税等の交付金、財源不足を補うために措置された町債を合わせた依存財源は73・2%になります。

残りの26・8%は、町民の皆さんが納付している町税等の自主財源です。町税の総額は6億351万円で一人当たり11万4214円の納付額になっております。一般会計の決算では、基金から7億1914万円を取り崩し、歳入の不足分を補いました。

一般会計・歳出

歳出の最終決算額は、62億6847万円で対前年比22・4%の増となりました(3ページ・グラフ2参照)。

総務費は、地域振興費及び総務管理費等の増により7億9715万円の増となっています。

民生費は、社会福祉費の増により719万円の増となっています。

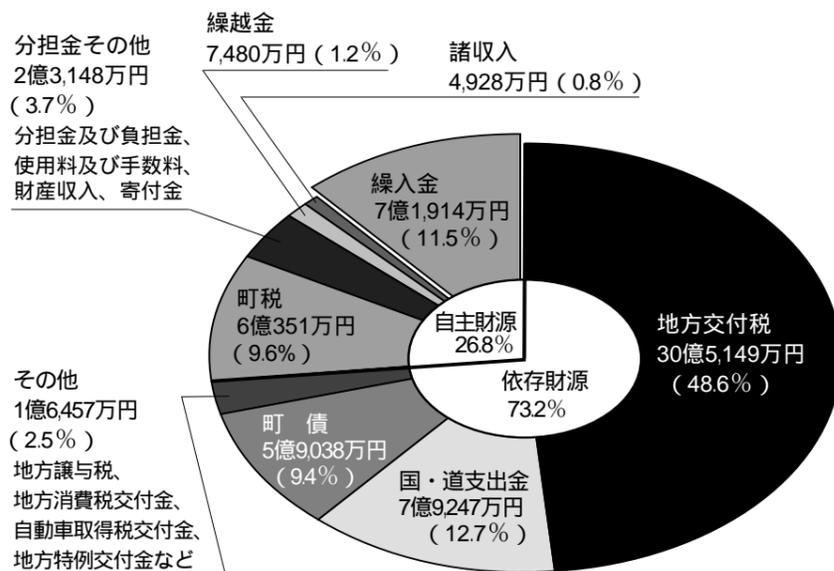
農林業費は、農業費の農山漁村活性化対策整備事業や、林業費の21世紀の森管理経費等の増に伴い、1億9423万円の増となっています。

また、歳出の項目にある公債費とは、町が事業を行ったときに借りましたお金の償還額です。歳出の9・0%と負担割合が大きい状況ですが、償還額のピークは過ぎたため、毎年下降傾向にあります。対前年比が大きい項目のみを紹介しています。

歳入(一般会計)

総額 62億7,712万円

町民一人あたりの町税の納付額 114,214円
(平成26年3月31日現在 人口5,284人)



グラフ1

地方交付税
地方公共団体間の財源不均衡是正を目的に、国税の所得税、法人税、消費税、酒税など、それぞれ一定割合の額を国から交付されるお金。

国・道支出金
町で行う特定の事業に対して、国または道から交付される負担金、委託金、補助金。

町債
町が事業を行うために借りましたお金のほか、地方交付税減による財源不足を補うため措置された臨時財政対策債が含まれる。

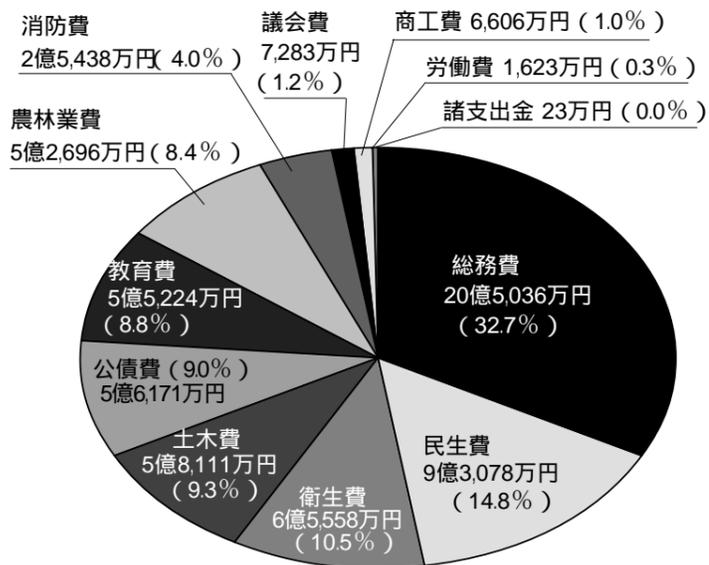
町税
町民税や固定資産税、軽自動車税、特別土地保有税、たばこ税、入湯税など。

繰入金
目的の事業を行うための財源及び財源不足を補う目的で、町の貯金である基金を取り崩して一般会計に入れたお金。

歳出(一般会計)

総額 62億6,847万円

町民一人あたりの経費 1,186,312円
(平成26年3月31日現在 人口5,284人)



グラフ2

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	9億1,901万円	9億1,575万円
後期高齢者医療事業	8,424万円	8,380万円
介護保険事業	4億5,402万円	4億5,370万円
介護サービス事業	3億322万円	3億286万円
下水道事業	4億3,146万円	4億2,935万円
簡易水道事業	4,308万円	4,247万円

表1 特別会計決算額

特別・企業会計

このほか特別会計として、国民健康保険事業・後期高齢者医療事業・介護保険事業・介護サービス事業・下水道事業・簡易水道事業の6事業会計と、企業会計である下水道事業会計があり、それぞれ私たちの生活と密接に関わっています(表1・2参照)。

一般会計とも健全財政に努めています。不足分を補うため、一般会計から下水道事業を除く6事業会計に、法定繰り出しを含めて5億2989万円が繰り出されています。

総務費
地域振興基金積立金、体験交流施設整備事業等の増により対前年比63.6%の増。

民生費
社会福祉費の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金経費等の増により対前年比8.3%の増。

衛生費
地域医療維持助成、下水道事業特別会計繰出金等の増により対前年比5.6%の増。

土木費
道路橋梁費の雪寒建設機械導入事業等及び、河川費の増により対前年比4.5%の増。

公債費
償還完了等に伴う過疎対策事業債等の減により対前年比8.1%の減。

教育費
小学校費の小学校施設整備事業等の増により対前年比4.2%の増。

農林業費
農業費、林業費の増により対前年比58.4%の増。

消防費
防災対策経費等の増により対前年比16.1%の増。

議会費
議会運営経費の増により対前年比6.4%の増。

商工費
給与費の減により対前年比6.8%の減。

表2 企業会計決算額	会計		収益的収支	
			収入	支出
	上水道事業		1億3,083万円	1億1,967万円
		資本的収支		
		収入	支出	
		457万円	4,947万円	

表3 一般会計性質別内訳

	25年度決算額	24年度決算額	増減率
人件費	9億2,301万円	9億4,023万円	△1.8%
物件費	8億220万円	7億3,828万円	8.7%
維持補修費	5,495万円	5,036万円	9.1%
扶助費	2億9,146万円	2億9,347万円	△0.7%
補助費	6億2,819万円	6億50万円	4.6%
公債費	5億6,171万円	6億1,132万円	△8.1%
積立金	12億5,391万円	5億5,630万円	125.4%
投資出資金	-	-	0.0%
貸付金	300万円	300万円	0.0%
繰出金	6億3,781万円	5億8,435万円	9.1%
投資的経費	11億1,223万円	7億4,526万円	49.2%
合計	62億6,847万円	51億2,307万円	22.4%